

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 30, No. 2 神奈川県立生命の星・地球博物館 Jun. 2024



硫黄島の新島の噴火

東京都小笠原村硫黄島
2023年11月24日 12時14分
山下 浩之撮影

やました ひろゆき
山下 浩之(学芸員)

2023年11月に、東京大学大気海洋研究所の調査船「白鳳丸」による、KH23-09航海が実施されました。この航海では東京港を出港して、目的地のマリアナ海溝まで4日間かけて南下しました。東京港からマリアナ海溝までの最短ルートは、火山前線である七島—硫黄島海嶺に沿って南下するコースです。

硫黄島の東を通りかかった時、島の南方に白色の噴気が上がっているのが確認できました。しばらく白煙を眺めていると、突然黒煙が上りました。火山の

噴火です。黒煙の後ろに見える山が硫黄島最高峰の摺鉢山(172 m)ですので、噴煙の高さは200 mくらいはありそうです。後でわかったことですが、この噴火が起きていた新島は、硫黄島の約1 km南にあり、噴火の形態はマグマ水蒸気爆発だったようです。噴火は5分から6分間隔で頻繁に起きていました。硫黄島の後は南硫黄島も見ることができ、2021年開催の特別展「絶海の自然—硫黄列島をゆく—」を懐かしく思いながら調査地に向かいました。